

2024年8月26日

## 関西国際空港 T1 リノベーション 4階国際線保安検査場先行オープン ～エリア面積を拡張し、より快適でスムーズな保安検査が可能に～

関西エアポート株式会社は、現在リノベーション工事中の関西国際空港第1ターミナルビル4階国際線保安検査場の一部を、2024年9月3日（火）に先行オープンすることをお知らせいたします。

新しい国際線保安検査場はこれまで3カ所あった検査場を1カ所に集約し、面積を拡張することでより解放感のあるエリアに生まれ変わります。また、従来よりも長尺のスマートレーンを導入しレーン数も増やすことで、より快適でスムーズな保安検査が可能となります。

T1 リノベーションは関西エリアにおける将来の国際線需要の拡大を見据え、関西国際空港の国際線キャパシティの拡大とエアサイドエリア（保安検査後のエリア）の充実、旅客体験の向上を目的にしたもので、2025年春のグランドオープンをめざしてします。グランドオープン時には、新たな入国審査場や商業施設、国際線ラウンジもオープンし、同年に開催される「大阪・関西万博」へ世界中から訪れるお客さまを関西の玄関口としてお迎えいたします。

関西エアポートグループは、これからも関係の皆さまと連携し、国内外のお客さまを迎える関西国際空港の機能強化に向けて、引き続き安全・安心を第一にリノベーション工事を進めてまいります。

### ■新保安検査場の概要

	Before	中央オープン時	グランドオープン時
面積	約3,500m <sup>2</sup>	約3,600m <sup>2</sup>	約6,300m <sup>2</sup>
レーン数	16台	16台	18台※
レーン長さ	15m	20m × 10 15m × 6	20m × 10 15m × 8

※ 将来的に22台まで増設可能

処理能力：約4,500人/時 → 6,000人/時（グランドオープン時）



Thank you, Anniversary



### 【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
グループコーポレートコミュニケーション部  
パブリックリレーション  
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ：[www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/)をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約35,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。このPurposeを軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13カ国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

# 関西国際空港 T1リノベーション ～2025年春 グランドオープンに向けて～

2024.8.26







Shaping a New Journey



# 目次

---

-  **T1リノベーションの全体概要**
-  **これまでの動き (Phase1・Phase2)**
-  **Phase 3 について (新保安検査場、新入国審査場、新国際線ラウンジ)**
-  **今後のスケジュール**





# T1リノベーションの全体概要

## ● 関西国際空港の整備経緯

※2024年9月4日で開港30周年を迎えます。



# T1リノベーションの全体概要

## 基本コンセプト

～KIX Terminal 1の再設計～

国際線  
キャパシティ拡大

エアサイドエリアの充実

旅客体験の向上

- 国際線/国内線エリア配置の見直し
- 国際諸施設の中央集約化
- ファストトラベルの推進
- ランドサイド/エアサイド比率の見直し
- 商業エリアの充実
- 旅客動線の見直し
- ユニバーサルデザイン
- 天井、エスカレータ等の耐震補強

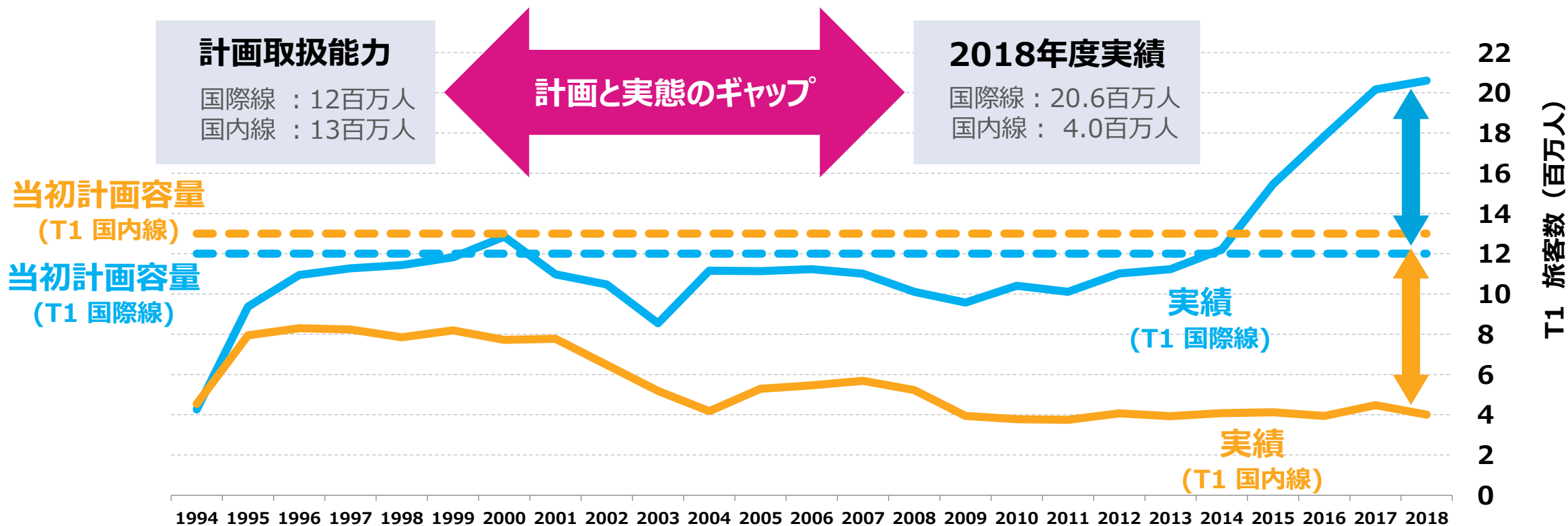


**T1リノベーションを中心に、関西国際空港全体で約4,000万人の国際線キャパシティを創出**

\*2018年度：国際線旅客約2,300万人

# 国際線キャパシティの拡大に向けて

## 第1ターミナルビルの運用状況

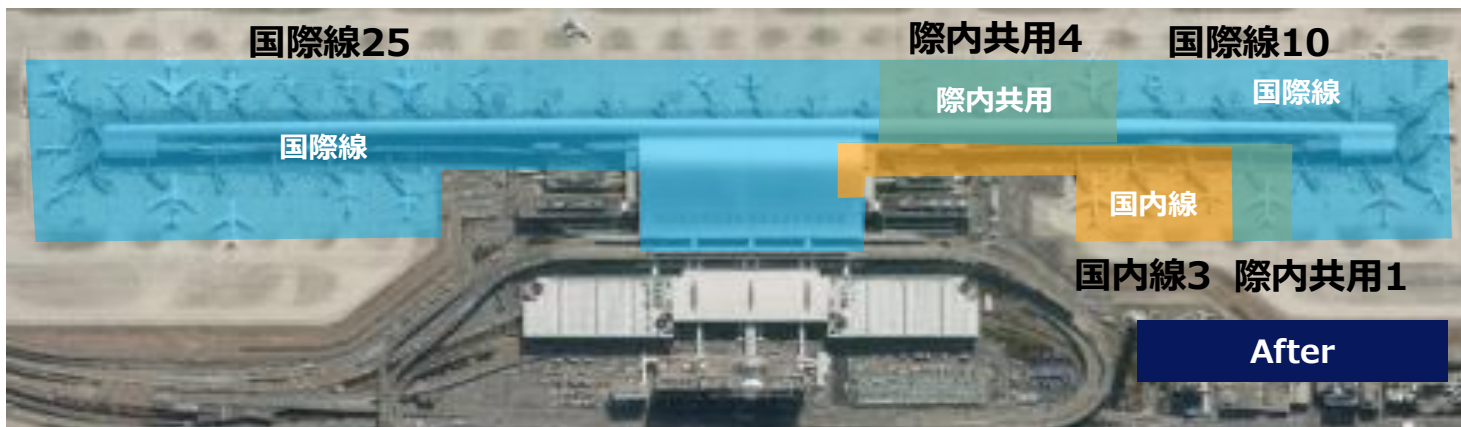


ギャップを解消し、既存のターミナルビルを最大活用



# 国際線キャパシティの拡大に向けて

## 国際線/国内線エリア配置の見直し



国際線  
南北一体運用

可能なレイアウト

国際線ビル内面積

+ 25%

国際線使用可能スポット

+ 6 スポット (34 ⇒ 40)

国際線出発エリア面積 (中央部)

+ 60%

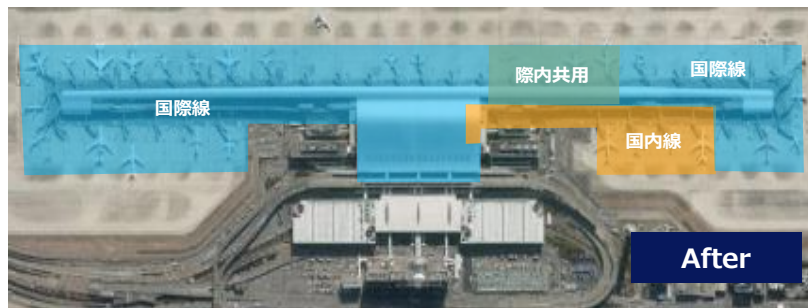
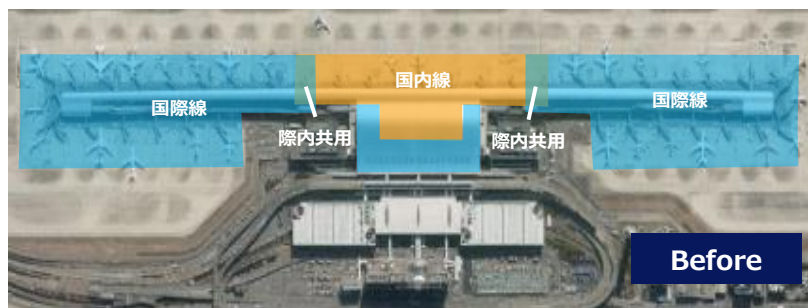


# 国際線キャパシティの拡大に向けて

## Phase 1

(2022年10月)

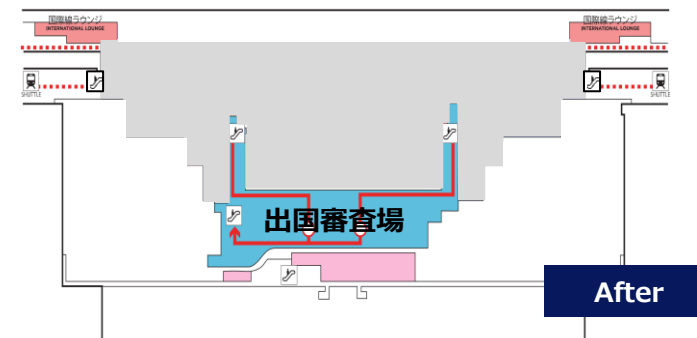
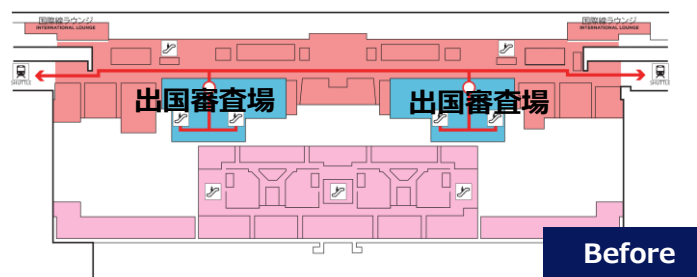
- 国際線/国内線 配置の見直し
- 国際線スポット増
- 税関検査場を中央に集約



## Phase2

(2023年12月)

- 出国審査場を中央に集約

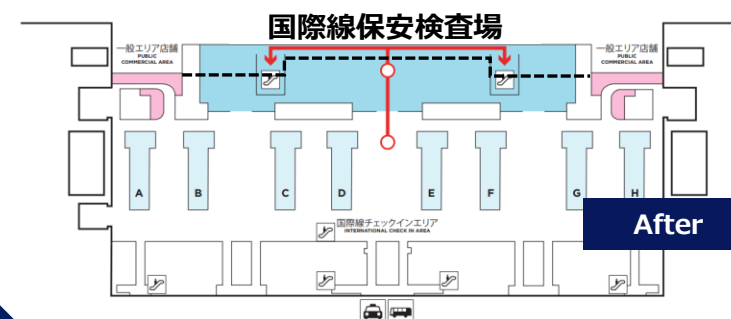
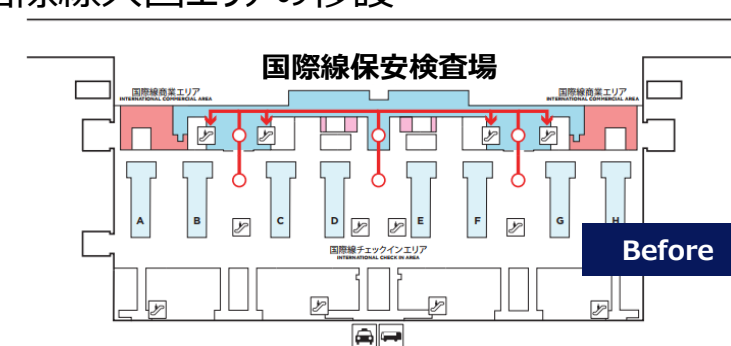


## Phase3

2024年9月 保安検査場先行オープン

2025年春 グランドオープン

- 国際線保安検査場の集約・拡張
- 国際線入国エリアの移設

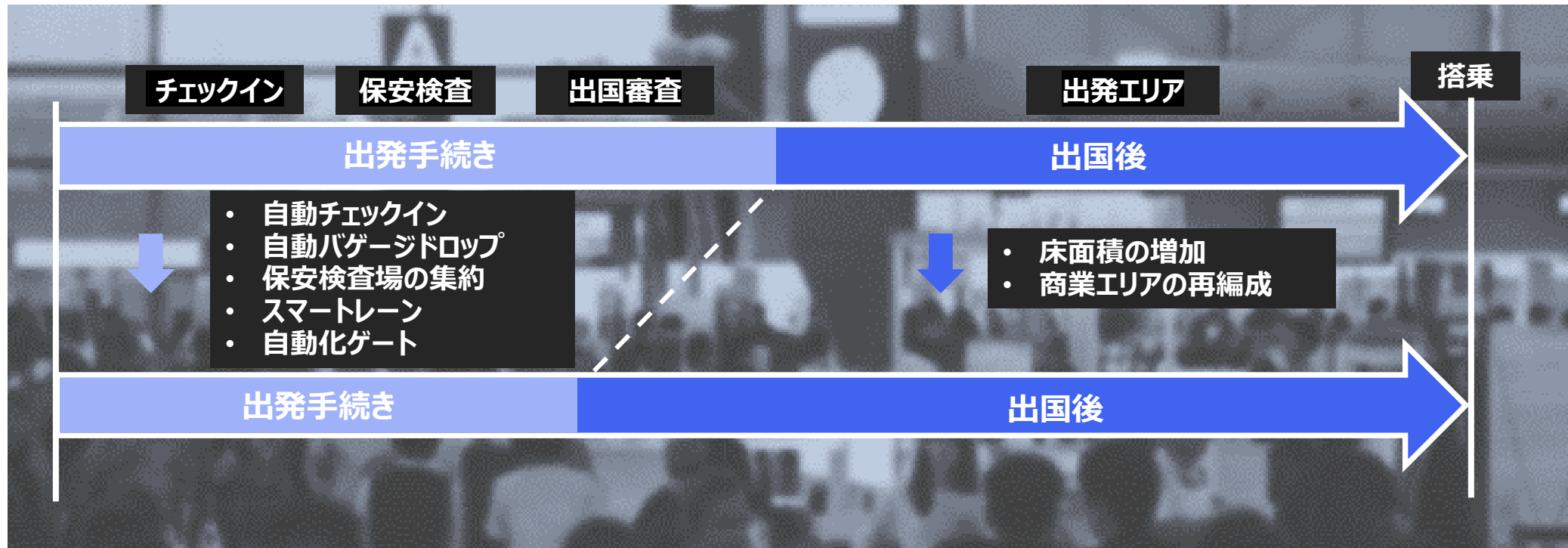


- バゲージハンドリングシステム (BHS) 更新
- チェックインカウンターの増強

大阪・関西万博に向け、  
国際線キャパシティの創出  
など主要機能を完成

# エアサイドエリアの充実・旅客体験の向上 ～出発までの快適な時間をより多く～

## ランドサイド/エアサイド滞在時間の変化



※グラフは滞在時間のイメージです。

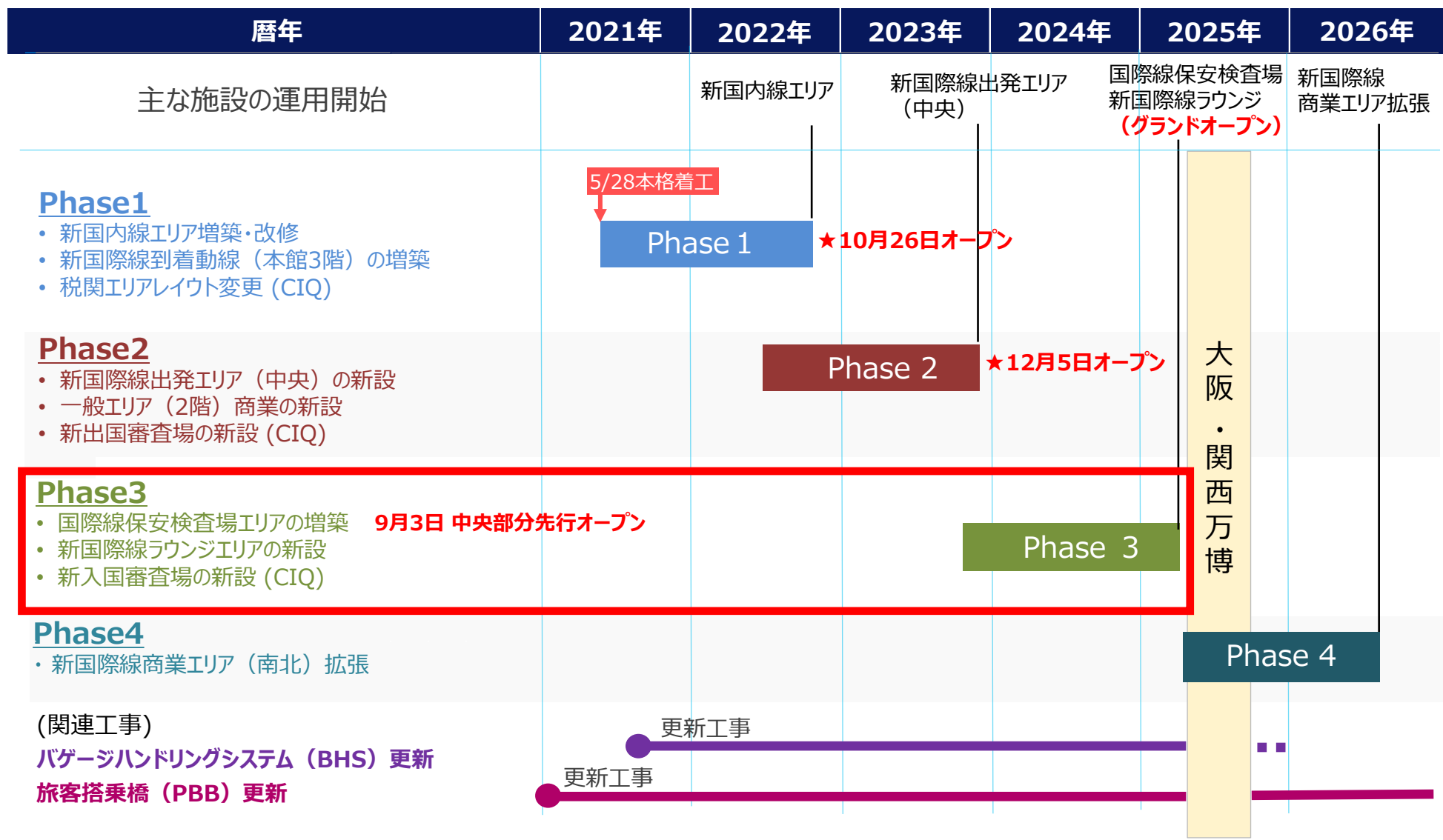
ファストトラベルの導入、出発エリアの拡大により、  
お客様に快適な時間をより多く

# T1リノベーション後の新国際線出発エリア

ウォークスルー型免税店を通過後、集約された商業区画を計画



# 全体スケジュール



大阪・関西万博



# 今後の関西地域のインフラ整備

淀川左岸線延伸工事（2027年一般開通予定）

※2025年大阪・関西万博開催時 新大阪駅・大阪駅から万博会場までシャトルバスルートとして暫定開通

**ITAMI**（2020年8月グランドオープン）

北大阪急行延伸工事（2024年3月23日開通）

**KOBE**

**大阪・関西万博（会場：夢洲）**  
開催期間:2025年4月13日～10月13日  
※2030年 大阪IR開業予定

**うめきたエリア：**  
オフィス、ホテル、中核機能、商業施設、都市公園、住宅を有した世界をリードするまちづくり

- うめきた新駅（JR大阪駅新改札口）2023年3月18日
- グラングリーン大阪 先行まちびらき 2024年9月6日

なにわ筋線開通工事（2031年開通）

**ミナミエリア：**食・文化・娯楽の発信

**KIX**

（2025年春第1ターミナルビルグランドオープン）

関西国際空港⇄大阪駅間のアクセスが向上  
うめきた新駅開業により、特急はるかが大阪駅に停車  
（2023年3月18日）



**これまでの動き  
(Phase1・Phase2)**

# Phase1の振り返り（2022年10月26日オープン）

## ● 国際線/国内線エリア配置の変更

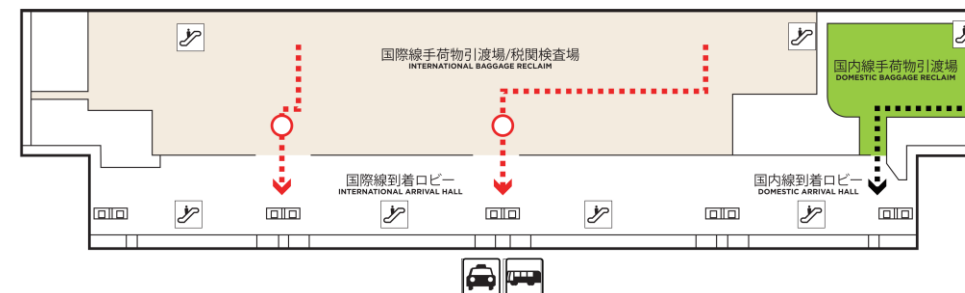
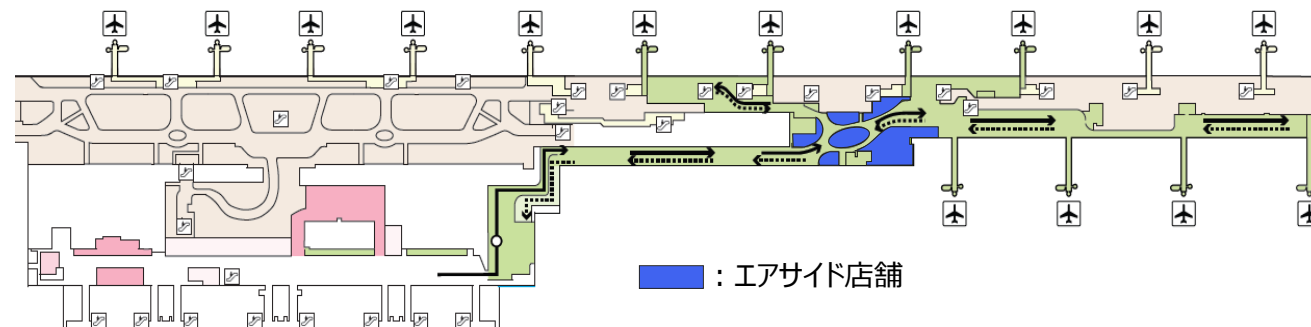
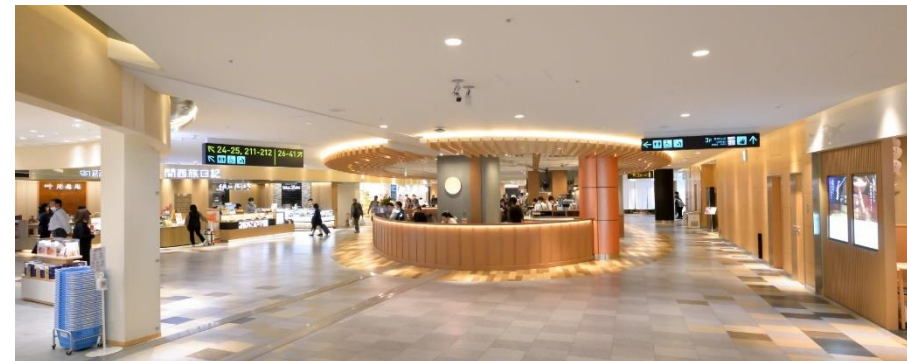
- 国際線スポット増（34スポット → 39スポット）

## ● 新国内線エリアオープン

- 国内線出発口を1か所に集約
- 保安検査後のエリア（エアサイド）に6店舗を出店
- ANA、JALのラウンジ利用者向けの共用ラウンジをオープン

## ● 国際線到着口の変更

- 国際線到着口のを中央寄りに変更
- 国際線到着時の税関検査場を中央に集約





# Phase 2 の振り返り（2023年12月5日オープン）

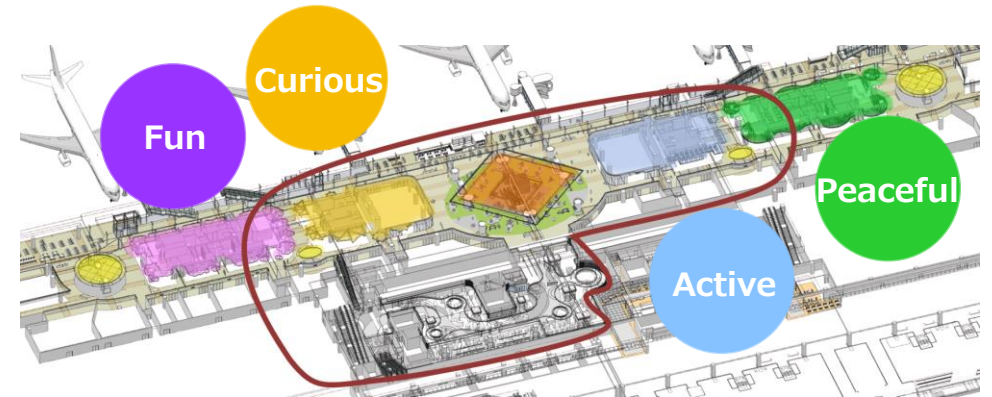
## ● 出国審査場の中央集約

- 南北の出国審査場を中央に集約し、温かみがあり、日本らしさを感じられる空間に



## ● 日本の国際空港として最大規模となるウォークスルー型免税店

- 約2,500㎡を誇るエリアに日本免税店では初出店となるブランドや定番のお土産菓子など豊富なラインナップをそろえた総合免税店
- 店内には事前予約商品の受け取りカウンターやお菓子を専用端末で注文する新システムを導入
- コンセプトはNature & Culture Harmony（日本らしい自然と文化の調和）



## ● PLAZA・4 MOOD

- PLAZAには解放感のあるウェーティングスペースを配置し、日本の旅・KIXを強く記憶に残すラストシーンの場を提供
- Moodエリアにおいては、お客様の気分に合わせて過ごせるよう飲食店と物販店が混在した商業エリアを展開







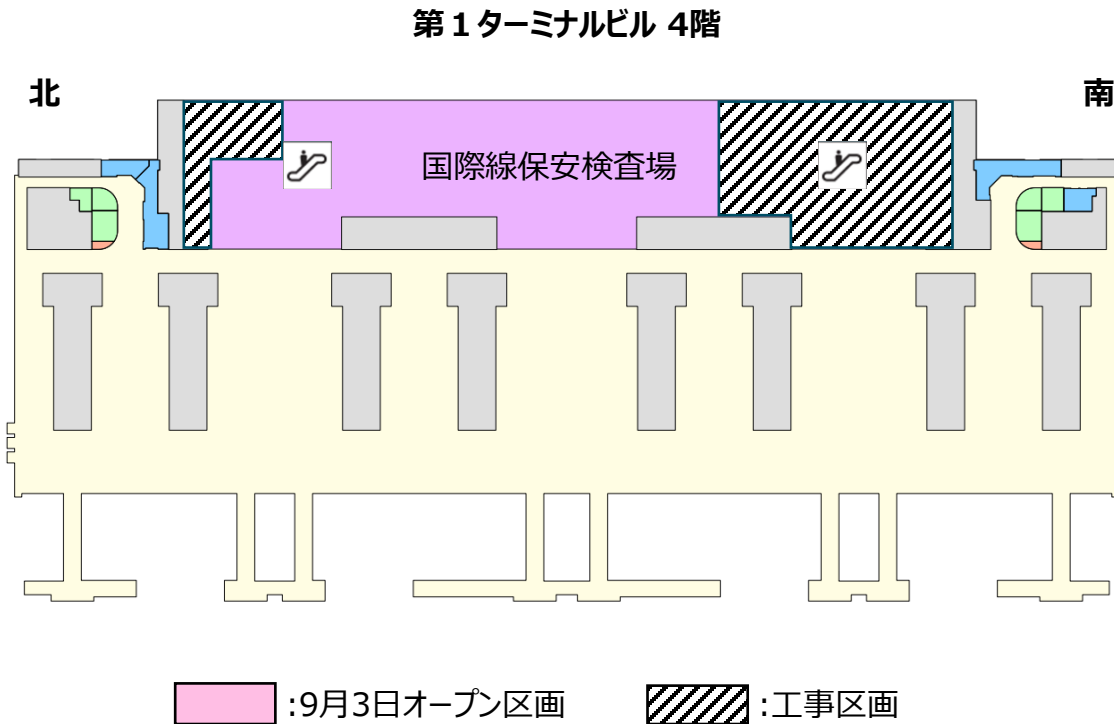
# Phase 3 グランドオープンに向けて

# 【Phase 3】4階国際線保安検査場

- 4階国際線保安検査場の集約と拡張
- スマートレーンを増設し、より早く、より快適でスムーズな保安検査
- 2024年9月3日に中央部先行オープン

	Before	中央オープン時	グランドオープン時
面積	約3,500m <sup>2</sup>	約3,600m <sup>2</sup>	約6,300m <sup>2</sup>
レーン数	16台	16台	18台※
レーン長さ	15m	20m × 10 15m × 6	20m × 10 15m × 8

※将来的に22台まで増設可能



**処理能力：約4,500人/時 → 6,000人/時**

※グランドオープン時。

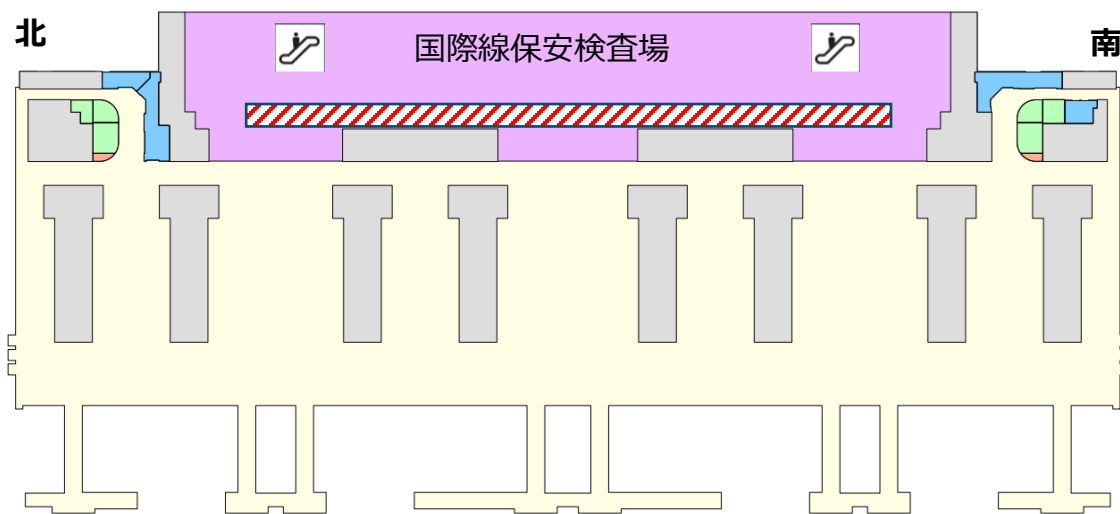


# 【Phase 3】4階国際線保安検査場

## キューイングマネジメントシステム（待ち行列管理システム）

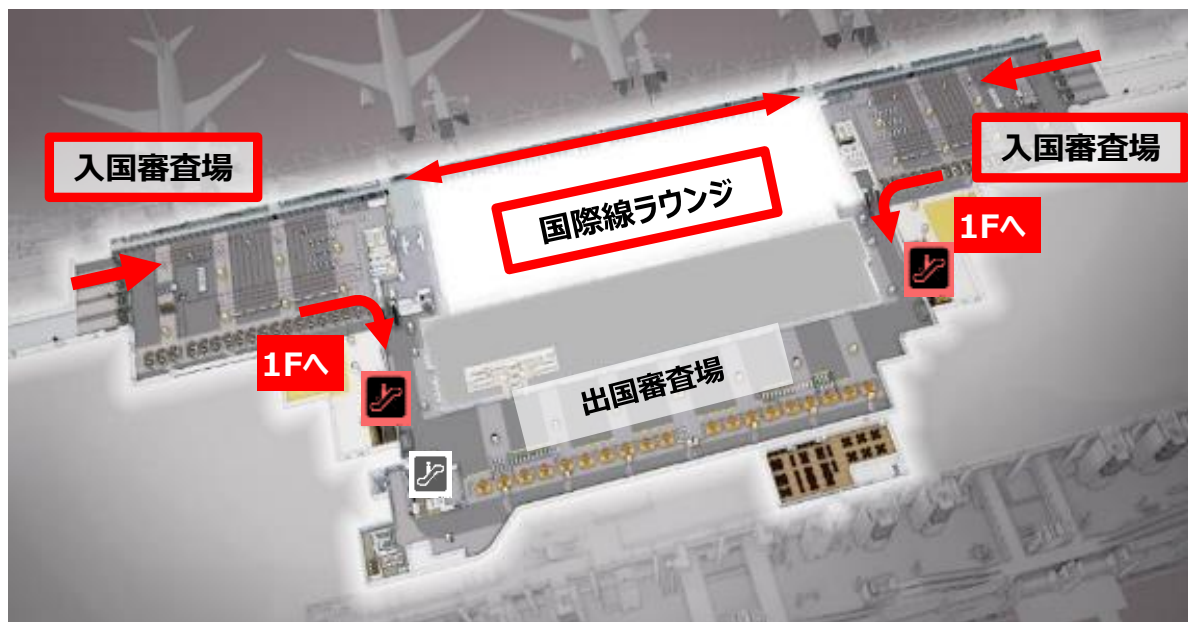
- 日本初導入
- お客様の流れを把握するデータをリアルタイムに活用し、自動でフラッパーを動かし動線を切り替えるシステム。お客様の数や状況に応じ、自動的かつ効率的に保安検査レーン（スマートレーン）に誘導することが可能

### 設置位置



# 【Phase 3】3階入国審査場

- 国際線入国エリアを3階に移設し、開放的な空間での入国手続き
- 接続廊下を通じた一体的な運用
- スムーズな入国審査/検査を目指した審査場レイアウト



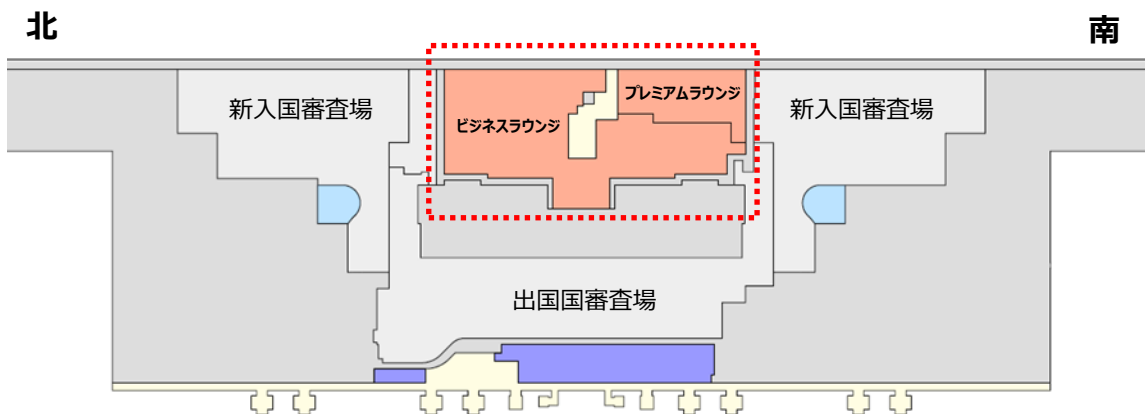


# 【Phase 3】国際線ラウンジ

- 国際線ラウンジを3階にリニューアルし、1ヶ所に集約
- ターミナル1に就航している航空会社のラウンジ利用者向けの共用ラウンジ
- スペースの効率化によってより広い空間を提供
- KIXにしかないラウンジを目指して「古都と都市」をキーワードとしたビジネスラウンジと、最上級クラスを対象としたより高級感を提供するプレミアムラウンジの2種類のラウンジを運営



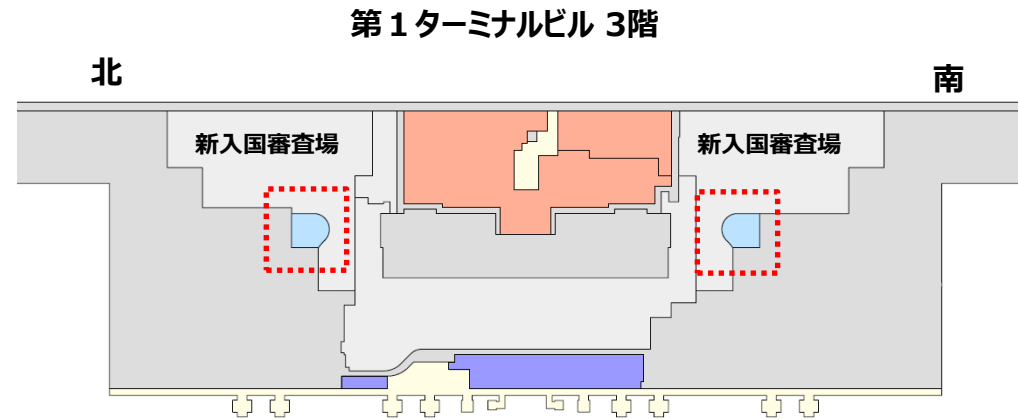
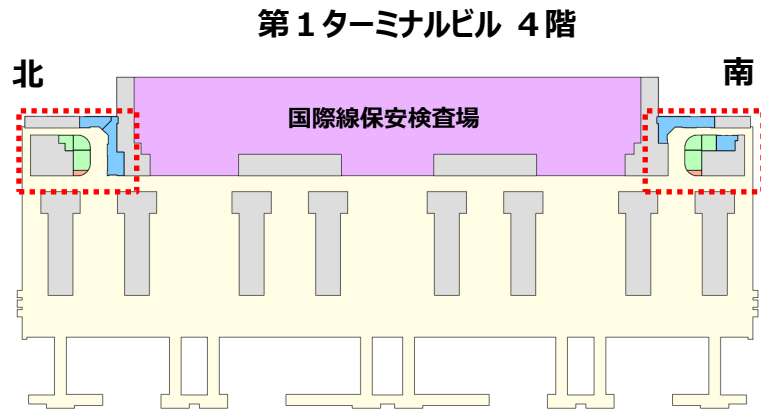
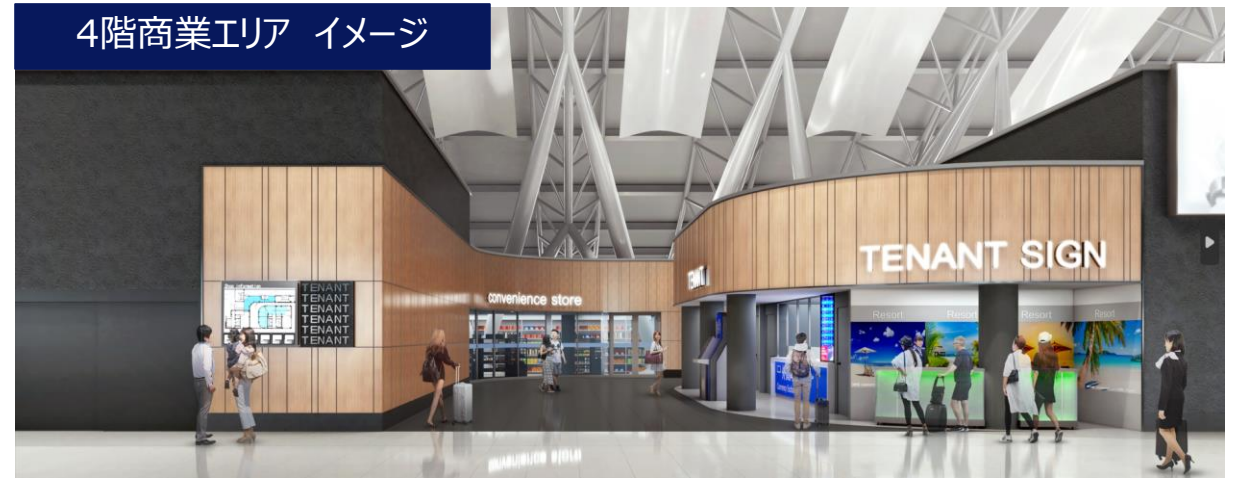
第1ターミナルビル 3階



面積：プレミアムラウンジ 約800m<sup>2</sup>  
ビジネスラウンジ 約2,970m<sup>2</sup>

# 【Phase 3】新商業エリア

- 4階国際線出発エリア、3階国際線到着エリア、2階フードコート「Tasty Street」内の3箇所に計13店舗がオープン
- 飲食、物販、免税、サービス施設などご利用になるお客さまの幅広いニーズに対応



# T1リノベーション 今後のスケジュール

